

【様式2】平成28年度組織目標評価(組織名:リハビリテーションセンター)

番号	目標項目	目標値等(目標の内容)	達成状況(成果と課題)	達成度	今後の対応(△・×の項目)	担当所属
1	高次脳機能障がいや脊髄損傷等の障がいのある方を対象に、社会生活の自立を目標とした支援の充実。	医療部門の利用者や相談のあった人たちのうち、社会活動への参画や就労・就学のための支援等が必要な人に対し、地域社会の課題に対応した個別支援を実施。 相談者への個別支援の実施率:100% (H27:100%)	当事者の課題に対し、都度必要に応じ地域連携会議を開催。介護・高齢者福祉や障害者福祉分野、その他関係機関等と連携・協働して個別に支援方針等を定め100%の支援を実施。	○		相談・支援係
2	【学ぶ力の向上】 高齢者や障害のある方への質の高い生活や社会への統合に向けて、リハビリテーションにかかる専門的な支援の実施。	事業や総合相談窓口での相談対応件数:250件以上 (H26:201件 H27:346件)	平成28年度中に事業や総合相談での対応件数は285件であった。昨年度から対応件数は減少したが、事業における対応件数に上限を設け、より深く丁寧な相談対応ができるようにした。	◎		事業推進係
3	医療・保健・福祉・教育・職業などリハビリテーションにかかる各種の専門職を対象とした実務に活かせる研修の実施。	教育・研修事業の受講者を対象としたアンケートを実施し、実践場面で有用とする回答の回答率:95%以上 (H27:92.3%)	教育研修事業の参加者数は660名で、アンケート回答者数は528名であった。そのうち実践場面で有用とする回答の回答者は512名で、回答率は97.0%であった。今後も参加者のニーズにこたえられるように開催したい。	◎		事業推進係
4	補装具および更生医療にかかる相談・判定事業の充実	相談・判定件数:3,000件 (H27:2,934件)	2月末までの相談(判定依頼受理)件数は2,593件、判定件数は2,303件で、88.8%の処理が完了。	△	未判定分については、今後とも適正な判定ができるよう努める。	更生相談係

※「達成度」の欄は、年度末の目標の達成について、

◎ 目標を超えて達成(100%超)、○ 目標どおり達成(100%)、

△ 目標の半ば以上の実績(50%以上)、× 目標の半ば以下の実績(50%未満)

に分類・評価して記入してください。なお、評価するにあたり、カッコ書きの数値により難しい場合は、この数値を参考としながら、各目標の内容に応じた評価を行ってください。